



申1号

第43回定期大会発言等に基づく申し入れ

本日提出!

大会では、命を脅かす事故・事象の報告や、各職場における要員不足の現実と要員不足に起因した教育・訓練の課題、常軌を逸した異常な職場管理が行われている現実、地方ローカル線の存続に向けた地域との連携など多岐にわたり報告がされました。

JR 東労組は、責任追及について一貫して反対してきました。そして、会社発足以降、あらゆる労使協議の場において議論を行い「責任追及から原因究明へ」の安全哲学を築き上げてきました。この安全哲学は不変であり、これからも継承していかなければなりません。しかし、最近では、人身事故復旧作業中に隣接線の抑止解除や、連続して発生する感電事故、当直から業務用携帯電話による運転再開指示などの事故・事象は後を絶ちません。よって、安全哲学に基づき、事故・事象を発生させてしまった当事者と向き合い、4M4E 分析手法などを用いて原因究明し対策を講じていく事が求められています。

また、年休申請したのにもかかわらず事実を隠蔽し処分されたことや、管理者としての質が問われる不適切な行為など、異常な職場管理が行われています。過半数代表者選挙においても、会社研修などを利用し JR 東労組への誹謗中傷や、不正行為などが複数の職場で発生しています。

さらにこの間、労使協議の場において、各職場における要員不足の現実を訴えてきましたが、未だ解消には至っていません。月2回の休日出勤が当たり前の職場や、所定行路を分割して他の行路や他職場に振り分けている現実などが発生しています。要員不足の中、「融合と連携」の名のもと業務が多能化する一方で、一人ひとりの業務量は増加し心身ともに疲労度が増しています。

したがって、職場で発生しているあらゆる問題・課題に対して真摯に向き合い、労使で認識を一致させ、根本的な解決に向けて議論していく事が必須であり、「安全・健康・ゆとり」ある職場の構築をめざし、申1号第43回定期大会発言等に基づく申し入れを行いました。

1. 命を脅かす事象が未だに発生している現実に対する会社の認識を明らかにすること。また、命と安全を価値基軸とし徹底した原因究明のもとで再発防止と予防安全を講じること。
2. 「融合と連携」における技術・技能継承の課題を明らかにすること。また、各職場で要員不足により発生している休日出勤の慢性化や、教育・訓練の遅滞等の諸課題を解決すること。
3. 複数の職場で発生している過半数代表者選挙での不正行為を直ちに是正し、再発防止策を講じること。
4. 複数の職場で発生している異常な職場管理を是正し、風通しの良い職場をつくり出すこと。

職場の声に基づき、安全で安心して働ける職場環境を実現しよう!!!